

としま

SDGs CHALLENGE BOOK

としまSDGsチャレンジブック



SDGs未来都市

 豊島区
TOSHIMA CITY

GLOBAL RING

みらい だいっほ

未来をつくる第一歩を

としまく ふ だ

豊島区で踏み出そう。

かぞく ゆうじん せかいじゅう ひとびと あか みらい むか
 わたしたちの家族や友人、さらに、世界中の人々が明るい未来を迎えるためには、
 ちきゅうぜんたい かだい の こ か
 地球全体のさまざまな課題を乗り越えるアクションが欠かせません。
 せいかつ すこ くふう くわ せかい まも
 いつもの生活に少し工夫を加えて、世界を守るチャレンジをしてみませんか。



CONTENTS

せかい まも
 世界を守る“SDGs”とは P.03

17のゴールにチャレンジ P.05

としまく じぞくかのう
 豊島区の持続可能なまちづくり P.39

たっせい む じぎょう
 SDGs達成に向けたモデル事業 P.45

とくめいたいし とく
 特命大使が取り組むSDGs P.49

きぎょう とく
 企業が取り組むSDGs P.51

くちょう としせんげん
 区長メッセージ・としまSDGs都市宣言 P.53

おじいちゃん

せわす
 世話好きで、ボランティ
 かつどう さんか
 ア活動によく参加して
 さいしん
 いる。最新のカルチャー
 きょうみ かぞく
 に興味があり、家族み
 おそ
 んなに教わっている。

おばあちゃん

ほうふ ふよう
 アイデアが豊富で、不用
 ひん
 品をリメイクするのが
 とくい まいにち さんぽ
 得意。毎日散歩するな
 けんこう とりく
 ど、健康のための取組
 か
 みも欠かさない。

お父さん

りょうり す しんせん しょく
 料理が好き。新鮮な食
 ざいえら
 材選びにこだわりがあ
 つか じょうほう
 る。SNSを使った情報
 しゅうしゅう しゆみ ごくさいもん
 収集が趣味で、国際問
 だい くわ
 題に詳しい。

お母さん

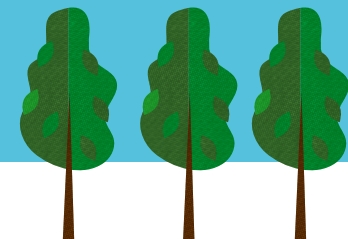
かけほ
 家計簿をつけ、ムダな
 しゅっぴ せつやくか
 出費をおさえる節約家。
 めざ せいかつ
 省エネを目指し、生活に
 やくだ
 役立つテクノロジーを
 かい
 チェックしている。

長男

アートやサブカルチャー
 だいす きょうじつ かんげき
 が大好き。休日は観劇
 で
 やライブに出かけるこ
 おお さいきん せいじ
 とが多い。最近政治に
 かんしん も ほじ
 関心を持ち始めた。

長女

こま ほう
 困っている人は放って
 せいかく
 おけないやさしい性格
 べんきょうねっしん たっ
 で、勉強熱心。SDGs達
 せい かぞく こうどう
 成のため、家族の行動
 まね
 を真似している。



ねん がつ こくれん さいたく
2015年9月、国連サミットで採択された

じぞくかのう かいほつもくひょう
「持続可能な開発目標 = Sustainable Development Goals (SDGs)」。

ねん ちきゅうきぼうのさまざまなかだい こくふく
これは、2030年までに地球規模のさまざまな課題を克服し、

せかい じつげん もくひょう
よりよい世界を実現することを目標としています。

だれひとり と のこ みらい かな
「誰一人取り残さない」未来を叶えるには、

こくさいしゃかい にほんこくない ちいましゃかい
国際社会だけでなく、日本国内や地域社会、

ひとり きょうりょく か
さらに、一人ひとりの協力が欠かせません。

せかい としまく
世界の、そして豊島区の

じぞくかのう
持続可能なまちづくりのために、いま、

もと
SDGsにつながるアクションが求められています。

たっせい もくひょう ぶんるい
SDGsは、達成すべき目標を分類した17のゴールと

な た
169のターゲットから成り立っています。

かく たっせい とりく すいしん
各ゴールの達成につながる取組みを推進し、

とうごうてき かだいかいけつ ほか みらいしゃかい こうちく めざ
統合的な課題解決を図ることで、よりよい未来社会の構築を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



LET'S CHALLENGE!





困^{こま}っている人^{ひと}を
助^{たす}けるために、
身^み近^{ぢか}な支^し援^{えん}から始^はめよう。

ひんこん なか くる せいかつ おく ひと
さまざまな貧^{ひん}困^{こん}の中^{なか}で苦^{くる}しい生^{せい}活^{かつ}を送^{おく}る人^{ひと}がいます。

しあわ く しゃかい めざ
みんなが幸^{しあ}せに暮^くらせる社^{しゃ}会^{かい}を指^めじて、

ちいき とりく わ ひろ
まず^ちは地^い域^きでの取^{とり}組^{ぐみ}の輪^わを広^{ひろ}げましよう。

1

ひんこん 貧^{ひん}困^{こん}をなくそう



じぞくかのう しゃかい かな せかいじゅう ひんこん かいしょう か
持^じ続^{ぞく}可^か能^{のう}な社^{しゃ}会^{かい}を叶^{かな}えるに^は、世^せ界^{かい}中^{じゅう}の貧^{ひん}困^{こん}を解^{かい}消^{しょう}するこ^とが欠^かか
ま^せん。海^{かい}外^{がい}だ^けで^なく日^に本^{ぽん}国^{こく}内^{ない}でも、平^{へい}均^{きん}な暮^きら^しと比^{くら}べた場^{ばい}合^{あい}
ま^ず貧^{せい}乏^{たい}さ(相^{そう}対^{たい}的^{てき}貧^{ひん}困^{こん})が^{おお}大^{もんだい}きな問^{もん}題^{だい}とな^ってい^ます。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

よ^よ読^よま^なく^なった^{えほん}絵^え本^{ほん}や
おも^きち^ふやを寄^よ付^きし^{よう}う

家^いに^ある^る絵^え本^{ほん}や^おも^ちや^を寄^よ付^きす^こと^で、支^し援^{えん}の^ひよ^うな^な子^こども^たち^や
施^し設^{せつ}に^届け^るこ^とが^でき^ます。



CHALLENGE

2

こ^こ子^ごの^がく^くし^しゅう^しえん
学^がく^くし^しゅう^しえん^なの
ボ^{さん}ラ^かン^かティア^に参^{さん}加^かし^{よう}う

学^が校^{こう}や^かじ^やで^の学^がく^くし^しゅう^しえん^が
困^こん^んな^な子^こども^のた^めに、ボ^{さん}ラ^かン^かティア^に
よ^りる^より^の指^し導^{どう}が^ひよ^うな^なり^ます。



CHALLENGE

3

し^しょう^じゅう^じん^を購^{こう}入^{にゅう}し^{よう}う
フェア^しア^じト^じレード^の商^{しょう}品^{ひん}を^を購^{こう}入^{にゅう}し^{よう}う

作^さる^る人^{ひと}と^しう^うる^る人^{ひと}が^たい^どな^なな^な立^たち^まで^で行^いう^う取^とり^ぎ
きを「フェア^しア^じト^じレード」とい^いま^す。
認^{にん}証^{じょう}ラ^らベル^べル^べな^など^のが^ついた^た商^{しょう}品^{ひん}を^を購^{こう}入^{にゅう}す^こと^で、
そ^の取^とり^ぎを^を応^{おう}援^{えん}で^きま^す。

えいよう
まいにち
栄養に気を
つけた食事
で、
げんき
毎日を元
気に過ご
そう。



かし
お菓子やジュースに、あぶら
りょうり
さけ
脂っこい料理、お酒……。

かたよ
しよくじ
つづ
えいよう
くず
偏った食事を続けていると、栄養バランスが崩れてしまいます。

いちど
じぶん
しよくせいかつ
みなお
一度、自分の食生活を見直してみませんか。

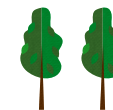
2

きが 飢餓をゼロに



かんきょうはかい せいぶつ げんしょう えいきょう う せかい おお ひとびと えいよう ぶそく
環境破壊や生物の減少などの影響を受け、世界の多くの人々が栄養不足
に苦しんでいます。食の豊かさに感謝し、ファストフードやスナック菓子
の食べ過ぎといった食生活の乱れに気を付けましょう。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

えいよう
栄養バランスを見直し、
しつ
質のよい食事を心がけよう

ごはんなどの主食に、肉や魚・大豆などを使った主菜、野菜やきのこ、海藻などの副菜を組み合わせてみましょう。食文化のすばらしさを改めて実感できます。



CHALLENGE

2

こ
子ども食堂」や「おとな食堂」を紹介しよう

地域の子どもの無料や安価で食事を提供する「子ども食堂」。豊島区では一人暮らしの高齢者を支援するため、「おとな食堂」も開催しています。



CHALLENGE

3

ファーマーズマーケットで
しんせん
新鮮な野菜を買おう

イケ・サンパークでは、週末に産地直送の野菜や区内・交流都市の名品を販売。商品を購入して、食の楽しみに触れてみましょう。

健康な身体をつくろう。
運動や規則正しい生活で、



はやねはやお てきど うんどう つづ
早寝早起きや適度な運動を続ければ、
たいりよく ま きぶん
体力が増すだけでなく、気分もすっきりします。

できることからチャレンジしてみましょう。

3

すべての人に 健康と福祉を



世界では、はしかや結核、エイズなど、さまざまな病気で亡くなる人が多く、医療の発展が求められています。生活習慣病などを予防するため、一人ひとりが生活を見直すことも大切です。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1 運動の習慣をつけて、病気を未然に防ごう

適度な運動は体力の向上だけでなく、気分転換やストレス解消にもつながります。1駅前で降りて歩くなど、できることから始めましょう。



CHALLENGE

2 感染防止のマスク着用や、外出後の手洗い・うがいを徹底しよう

マスクをつけることで飛沫の吸い込みなどを軽減できます。家庭内での感染を防ぐために、帰宅したらすぐに手洗い・うがいをすることも大切です。



CHALLENGE

3 健康診断、検診などを定期的に受けよう

身体の不調に気づいた時には症状が進行している場合も少なくありません。健康診断や検診を受けて、日頃から健康管理に努めましょう。

世界の状況や
SDGsの目標について
さらに詳しく
学んでみよう。



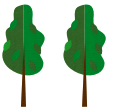
身の周りのニュースに興味を持ち、
自分で調べて理解を深めましょう。
学んで得た知識はさまざまな場面で役立ちます。

質の高い教育を みんなに



世界には、貧困や紛争の影響で学校に通えない子どもたちが多くいます。すべての人が充実した教育を受け、一生学び続けられる社会をつくるために、自分にできる活動を考えてみましょう。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

新聞やニュースをチェックして、
日本や世界の現状を調べてみよう

インターネットやテレビの情報をそのまま受け取るのではなく、疑問を持って調べることで、社会状況への理解が深まります。



CHALLENGE

2

としまコミュニティ大学で学んでみよう

豊島区と区内7大学が協働で行う「としまコミュニティ大学」。各大学で行われる講座に参加することで、興味のある内容を学べます。



CHALLENGE

3

図書館でSDGsについて調べてみよう

区立図書館は、SDGsの学習に役立つ本をそろえています。SDGsの成り立ちから17ゴールの詳細まで、幅広く学べます。



男女を問わず、
すべての人が心地よく
過ごせる工夫をしよう。

家事の分担や仕事での役割など、
さまざまな場面でジェンダーに配慮し、
みんなにとって快適な暮らしを実現しましょう。

5

ジェンダー平等を 実現しよう



世界中で男女平等に向けた活動が行われていますが、未だに働き方や家事の分担などで女性に対する不平等が残っています。あらゆる人が輝く社会をつくるため、それらをなくす取組みを始めましょう。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1 ジェンダーに関心を持ち、 身の回りの問題を調べてみよう

家事・育児の分担や会社での役割など、さまざまな場所で性別を理由とした不平等が生じていないか調べ、改善する方法を考えましょう。



CHALLENGE

2 ワークライフバランスを意識して働こう

仕事に力を入れるあまり食事や睡眠がおろそかになると、体調を崩してしまうことも。仕事と生活を両立できるよう、働き方を工夫しましょう。



CHALLENGE

3 家事を平等に分担しよう

家族みんなの家事負担について、一度確認してみましょう。食材の管理やごみの分別など、見えにくい家事まで目を配ることがポイントです。

生活に欠かせない
水の大切さを理解し、
ムダなく使おう。



蛇口をひねれば簡単に出てくる水も、

地球上の貴重な資源のひとつ。

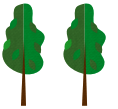
使い過ぎに気をつけて、SDGsに貢献しましょう。

安全な水とトイレ を世界中に



気候変動や環境破壊の影響により、世界の約40%の人が水不足の問題をかかえています。安全な飲み水を利用できるよう、森林や湿原、河川などの環境を改善していかなければなりません。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1 油は排水口に流さず、拭き取るようにしましょう



揚げ物に使った油だけでなく、フライパンに付いた少量の油も拭き取ってから洗うことで、環境への負担を軽減できます。

CHALLENGE

2 お風呂の水を散水や洗濯に再利用しよう



残り湯を洗濯に使うことで、節水につながるだけでなく、湯温によって衣類の汚れが落ちやすくなるといったメリットがあります。

CHALLENGE

3 区民センターのパブリックトイレや、アートトイレを使ってみよう



メイクコーナーなどの設備が充実した区民センターのパブリックトイレや、区内24か所の公園にある色鮮やかなアートトイレが利用できます。

地球の未来を守るため、
エネルギーの使い方を考えよう。



でんりょく
電力のムダづかいをやめ、
かんきょう かつよう
環境にやさしいエネルギーを活用することが、
ちきゅうおんだんか ほうし やくだ
地球温暖化の防止に役立ちます。

7

エネルギーをみんなに そしてクリーンに



でんりょく りょう けいざい ほつてん いっぽう はいしゆつ おんしつこうか
電力を利用して経済が発展する一方、排出された温室効果ガスによっ
じゅうだい かんきょうもんだい ひ お ちきゅう まも でんりょく
て重大な環境問題が引き起こされています。地球を守りながら電力を
きょうきゅう
供給するために、クリーンなエネルギーが注目されています。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1 買い替えの際には省エネ商品を選ぼう

電球をLEDに替える、家電の買い替えの際に消費電力が少ないものを選ぶなどの工夫が、電気使用量の節約につながります。



CHALLENGE

2 使っていない電化製品のコンセントは抜き、電気をこまめに消そう

スイッチを切っても待機電力がかかる場合、コンセントを抜けば節電できます。また、必要のない電気を消し、ムダを省きましょう。



CHALLENGE

3 電気バス「IKEBUS」などの公共交通機関を使って移動しよう

自動車での移動を減らし、公共交通機関を利用することで、燃料の消費や二酸化炭素の排出を削減できます。

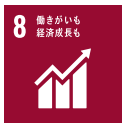


経済の発展に
つながる行動を考え、
暮らしに取り入れてみよう。

身の回りにある商品やサービスは、
さまざまな経済活動の中で生み出されています。
社会とのつながりを意識し、行動に生かしましょう。

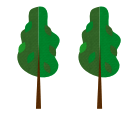
8

はたら 働きがいも 経済成長も



持続的な経済成長を実現するには、効率的に仕事を行うほか、技術革新が欠かせません。すべての人がディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）に取り組むために、職場環境の改善も重要です。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1 ITなどのテクノロジーを利用して 仕事の効率を向上させ、余暇も楽しもう

社内のやりとりやデータ共有にITなどの技術を活用することで、業務をスムーズに進められ、仕事の効率化につながります。



CHALLENGE

2 Hareza池袋などの商業施設や 商店街を利用しよう

ミュージカル・伝統芸能を上演するホールなど、8つの劇場を備えたHareza池袋や、地域に密着した商店街を積極的に利用して、経済を盛り上げましょう。



CHALLENGE

3 マンガ・アニメなど豊島区の魅力を SNSなどを通じて発信しよう

豊島区が誇るマンガ・アニメなどのポップカルチャーをSNSで発信しましょう。地域の魅力が高まり、持続可能な観光の実現にもつながります。

さまざま
な産業を
知り、
持続可能
な開発を
応援し
よう。



地域の産業やユニークなサービスに関心を持ち、

そのすばらしさを体験してみましょう。

新たな発見に出会えるかもしれません。

産業と技術革新の 基盤をつくろう

9



電気やガス、水道、道路といったインフラや、技術革新へ力を注ぐことは、経済成長に不可欠です。現在は世界人口の半数以上が都市で暮らしているため、デジタル技術や輸送手段の開発も求められています。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

メイド・イン・豊島区の商品を購入しよう



区名産のお菓子や工芸品を購入し、地域の文化を体感してみましょう。豊島区の新たな魅力を発見することで、生活がさらに豊かになります。

CHALLENGE

2

としまMONOづくりメッセに参加してみよう



豊島区や交流都市の企業・団体が一堂に会して商品を展示するとしまMONOづくりメッセ。会場を訪れ、各企業の技術や商品に触れてみませんか。

CHALLENGE

3

クラウドファンディングなどで先進的な取り組みを行う団体に投資しよう



商品を購入するだけでなく、今後実施される企画を応援することで経済に貢献できます。クラウドファンディングを活用し、投資してみましょう。

みんな
社会を
目指して、
支え合
う
人の
気持ち
に寄り
添おう。



自分の利益にこだわらず、周りを見て

必要なサポートを考えましょう。

小さな親切があたたかい地域づくりにつながります。

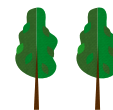
10

ひと くに ふびょうどう 人や国の不平等を なくそう



世界中の裕福な人々に富が集中し、貧富の格差は広がりを続けています。また、性別や人種、民族、障害などによる差別も問題となっており、あらゆる不平等の解決が求められています。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

助けが必要な人を見かけたら積極的にサポートしよう

お年寄りや身体が不自由な人、体調の悪い人が困っている時は、自分から声をかけ、手伝いましょう。



CHALLENGE

2

点字や手話などに興味を持ち学んでみよう

すべての人とコミュニケーションをとるためには、点字や手話のスキルが欠かせません。学んだ知識を実践することで、交流の輪が広がります。



CHALLENGE

3

さまざまな国・地域の文化や考え方の違いを認め合い、理解しよう

環境が違えば自然と文化や価値観、宗教などの違いが生まれます。異なる考えを拒むのではなく、尊重し、相互に理解することが重要です。

住みよいい環境をつくるために、地域の活動に参加しよう。



身近な場所での活動を通して、
見慣れた景色をもう一度とらえなおせば、
気づかなかった魅力を再発見できるはずです。

11

す づ つ 住み続けられる まちづくりを



2050年には、世界人口の3分の2にあたる65億人が都市で暮らすようになると見込まれています。多くの人が安心して暮らせるまちを実現するために、計画的なまちづくりを行うことが大切です。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

としまくちいきいき
豊島区の地域に息づく
たようぶんかほっけん
多様な文化を発見しよう

豊島区は、各地域で多種多様な文化を育んでいます。自分が住むまちの歴史や文化を学ぶと、まちへの愛着がさらに高まります。



CHALLENGE

2

せいそうかつどう
清掃活動などに参加して、
まちをキレイにしよう

住んでいる地域や会社のまわりの清掃活動に取り組むことで、まちがキレイになるだけでなく、充実感や達成感を味わえます。



CHALLENGE

3

くみんせだいここうりゅう
区民ひろばで世代を超えた交流をしよう

子どもからお年寄りまで、どなたでも利用できる区民ひろば。地域の特性を生かしながら、さまざまな事業やイベントを企画・実施しています。

生活を合わせた工夫で、
ものを長く大切に使う。



いちど ひつよう
一度必要がなくなったものも、

あら つか みち かんが て くわ
新たな使い道を考えて手を加えれば、

せいかつ か
生活に欠かせないアイテムになるかもしれません。

12

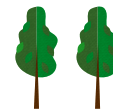
つくる責任 つかう責任

12 つくる責任
つかう責任



てんねんしげん てきせつ かんり ゆうがい はいしゆつ へ じぞくかのう
天然資源を適切に管理し、有害なごみの排出を減らすことで、持続可能
かいはつ じつげん ちか くに きぎょう だんたい かつどう とく
な開発の実現に近づきます。国や企業といった団体での活動に取り組む
しょうひしゃ ひとり いしき こうどう
だけでなく、消費者一人ひとりが意識して行動しましょう。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

しよくざい てきりよう こうにゆう た のこ
食材は適量を購入して食べ残しをやめ、
Reduceに貢献しよう

日本では食品ロスの問題が深刻になっています。一人ひとりが責任をもって食材を扱い、廃棄を減らす必要があります。



CHALLENGE

2

としま
豊島リサイクルセンターなどを利用し、
Reuseに貢献しよう

リサイクルセンターでは、各家庭で出た粗大ごみから再利用できる家具などを修理・クリーニングして展示し、希望者の方に抽選で提供しています。



CHALLENGE

3

ぶんべつ おこな
ごみの分別をしっかりと行い、
Recycleに貢献しよう

資源の再利用につなげるため、ごみと資源の出し方をあらかじめ確認し、ごみの分別ルールを守りましょう。

地球温暖化をくいとめよう。
 エコな暮らしを楽しんで、



早急な対策が求められる気候変動の問題。
 環境への負担が少ない暮らし方を考えて、
 できることから始めてみましょう。

13

気候変動に 具体的な対策を



温室効果ガスの増加による地球温暖化や、地震や津波、台風などの自然災害によって、毎年大きな被害が生じています。環境破壊を止めるために、世界の国々が協力して対策を進める必要があります。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

クールビズ・ウォームビズを心がけ、
 冷暖房を使わないよう工夫しよう

夏はノーネクタイ・ノージャケット、冬はひざ掛けやダウンを使って体温を調節すれば、冷暖房機器による二酸化炭素の排出を削減できます。



CHALLENGE

2

防災訓練に参加し、
 日頃から自然災害に備えよう

いつ起こるかかわからない地震や津波、火災などの災害に備え、防災訓練で避難経路や家族との連絡方法などについて確認しましょう。



CHALLENGE

3

カーボン・オフセットの商品や
 サービスを利用しよう

温室効果ガスの排出が避けられない場合、排出削減のための別の活動を実施する「カーボン・オフセット」。さまざまな商品に取り入れられています。

海の豊かさを学び、
海洋資源を守る
取り組みを始めよう。



人間の活動によって多くの被害を受け、

海の資源は危機に直面しています。

美しい海を守るための行動を考えましょう。

14

海の豊かさを 守ろう



川からのごみの流入による海洋汚染や、魚や貝などの漁業資源の乱獲により、海の資源は危機にさらされています。海や沿岸に生息する生物を管理し、持続可能性を守る取り組みを進めていかなければなりません。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

マイバッグやマイボトルを持ち歩き、プラスチックごみの排出を減らそう

海洋汚染の大きな原因となっているプラスチックごみ。マイバッグやマイボトルなどの利用によって、新たなごみの排出を防げます。



CHALLENGE

2

環境にやさしい
食器用洗剤・洗濯洗剤を使おう

洗剤に入っている化学物質は汚れをきれいに落としてくれる半面、環境に負担をかけることも。自然に悪影響を与えにくい洗剤を選びましょう。



CHALLENGE

3

海の生き物について関心を持ち、
水族館などで生態系を調べてみよう

魚や貝、くらげ、えび、かになど、海に生息するさまざまな生き物について学ぶことで、生態系を守る取り組みの大切さを理解できます。



緑の豊かさや植物や生物とふれあい、
陸の豊かさを体感しよう。

森林資源の減少を防ぐためには、

陸の生態系の多様さを知り、行動することが大切です。

身近な地域での活動に参加してみませんか。

15

陸の豊かさも まもろう



多くの生物を育み、きれいな水と空気を生み出す森林ですが、現在は環境破壊が進み、世界中の人々の生活に影響が生じています。地球の未来を守るために、陸の資源を取り戻す必要があります。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

緑化活動に取り組み、
自然を感じられるまちづくりに挑戦しよう

道路脇や屋上に生垣や植え込みをつくる、植樹をするなどして、生活を彩る緑を増やし、グリーンとしまの再生をサポートしましょう。



CHALLENGE

2

森林保全に貢献する商品を購入しよう

責任ある森林管理によって生産された商品を示す「FSC認証」マークを目印に商品を購入することで、森林の持続可能な開発を応援できます。



CHALLENGE

3

陸の生き物について関心を持ち、
豊島の森などで生態系を調べてみよう

豊島区役所の屋上には、かつての豊島区の自然を再現した「豊島の森」があります。植物や生き物について実物を見ながら学びましょう。

社会の問題を
自分ごととしてとらえ、
行動を起こそう。



新聞やテレビで伝えられる世の中の情報を
受け止め、自分なりの意見を持って、
社会を変えるための取組みをしてみましょう。

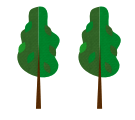
16

平和と公正を すべての人に



世界には平和と安全が続いている地域もあれば、紛争や暴力が繰り返される地域もあります。すべての場所で法による適正な手続を行い、人の権利を保障して、よりよい社会をつくるのが重要です。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE 1 選挙に行くなど、積極的に政治に参加しよう

政治を他人ごととしてとらえるのではなく、自分の知識や経験をふまえて社会の状況を考え、政策や理念に賛成できる人に投票することが大切です。



CHALLENGE 2 子どもたちを暴力や犯罪から守ろう

日頃から見守りや声かけを行うなど、地域全体で子どもの成長をサポートすることで、危険から守りましょう。



CHALLENGE 3 セーフコミュニティ*の取組みを推進しよう

地域のコミュニティや絆を広げながら、けがや事故、暴力等を予防する安全・安心なまちづくりを推進しましょう。

*豊島区は、安全・安心なまちづくりが評価され、2012年にセーフコミュニティの国際認証、2018年に再認証を取得しています。



SDGsを多くの人と共有し、
ゴール達成に向けて協力しよう。

SDGsについて勉強したら、

その知識を発信し、行動しましょう。

協力の輪が広がれば、ゴールの達成も近づきます。

17

パートナーシップで 目標を達成しよう



持続可能な開発目標(SDGs)は、国際的な協力がなければ達成できません。国や企業、自治体、市民など、さまざまな団体や個人が連携し、それぞれの強みを生かして行動を起こしましょう。

としまでできるSDGsチャレンジ



CHALLENGE

1

行政も民間企業も区民も、
オールとしまでSDGsに取り組もう

SDGsの17のゴールの達成には、このまちのすべての人の参加が必要です。小さなことから一つひとつ行動を起こしましょう。



CHALLENGE

2

SDGsに積極的に取り組んでいる企業や
団体を応援しよう

廃棄物の削減やクリーンエネルギーの導入など、SDGs達成に向かって活動する企業や団体の商品・サービスを利用しましょう。



CHALLENGE

3

SDGs特命大使になって
自分の取組みを発信しよう

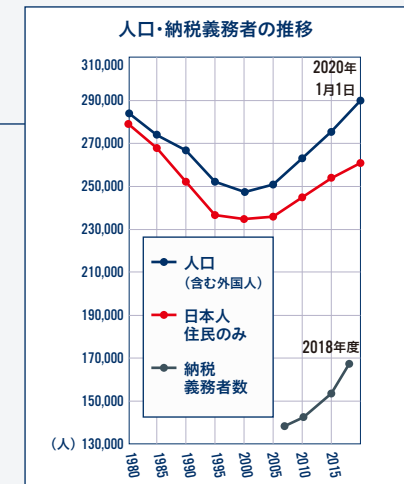
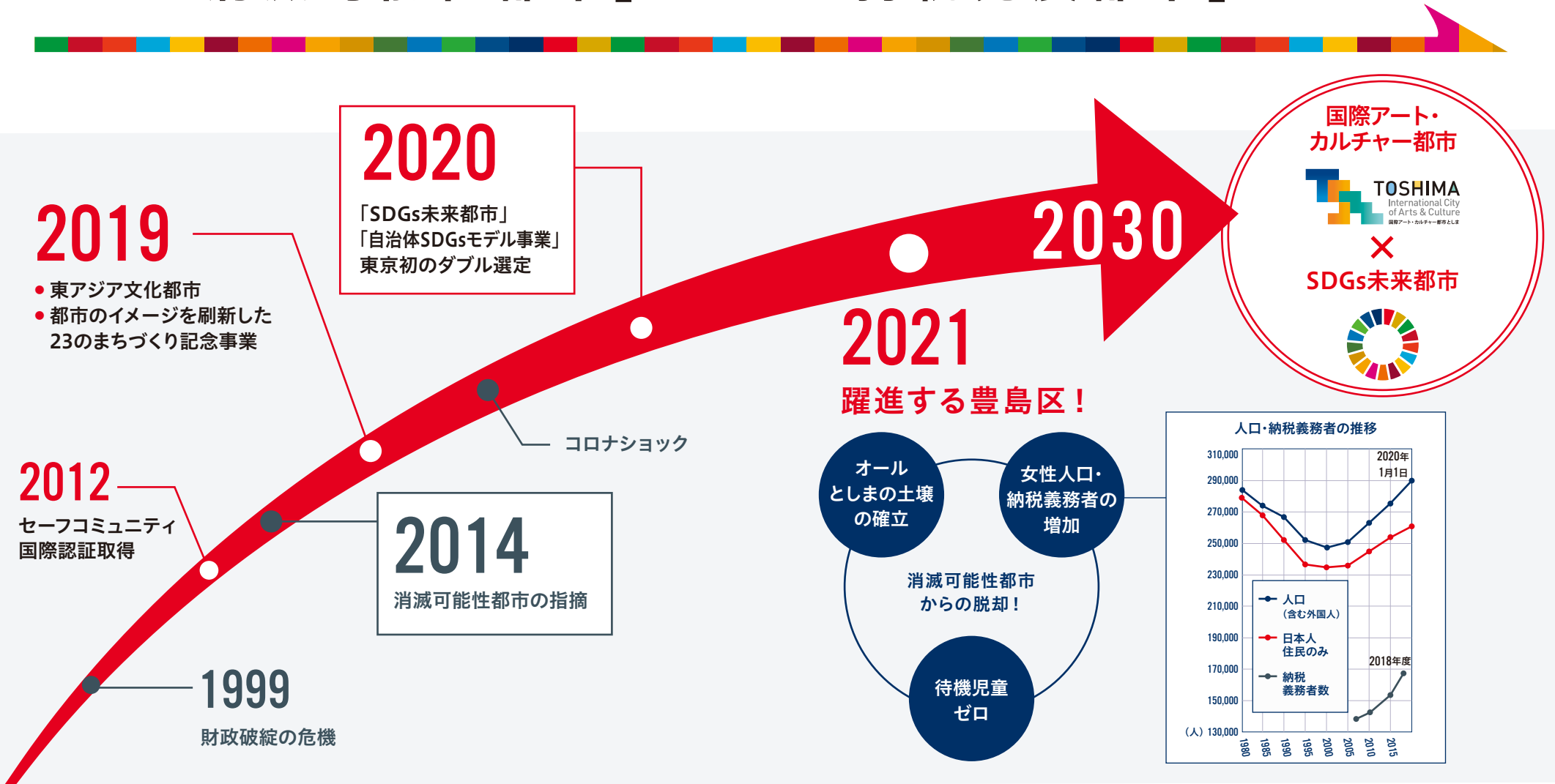
SDGs未来都市の実現に向けた活動の担い手「SDGs特命大使」。まちづくりに参画し、国内外に豊島区の魅力を発信しましょう。(※詳細はP.49)

持続可能なまちづくりで、 進化しつづける 新たな「豊島区」へ。

「消滅可能性都市」として
存続が危ぶまれた時期から、
区固有の“文化”を基軸としたまちづくりを展開し、
大きな発展を遂げた豊島区。
SDGsの推進においても、
国内外をリードする斬新な取組みを始めています。



「消滅可能性都市」から 「持続発展都市」へ



遡ること1999年、豊島区は、800億円以上の赤字を抱え、財政破綻寸前の状態でした。その後、さまざまな行財政改革を行うとともに、文化を基軸としたまちづくりを進め、2013年にはようやく財政黒字に転じました。しかしその矢先の2014年、豊島区は東京23区で唯一の「消滅可能性都市」^(※1)と指摘されました。このピンチをチャンスに変えるべく、持続発展するまちづくりへの挑戦が始まりました。

(※1) 民間有識者組織「日本創成会議」による発表。
2010年から2040年にかけて20～39歳の女性人口が50%以上減少すると推計された自治体が指摘された。

2015年、文化を基軸に持続発展する「国際アート・カルチャー都市」^(※2)を目指すべき都市像に掲げ、子どもと女性にやさしいまちづくりなど、さまざまな取組みを展開し、女性人口や納税義務者の増加へとつながりました。このような一連の取組みがSDGs未来都市への大きな土壌となりました。

(※2) アートの持つ想像力・創造力で、まちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、人と産業を惹きつける好循環を創出しようとする構想。

国際アート・カルチャー都市

× SDGs未来都市

～まち全体が舞台の誰もが

「誰もが主役になれる」まちを目指す国際アート・カルチャー都市と、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsは、まさに同じ方向性を目指すものです。豊島区は「SDGs未来都市」^(※)として、SDGsへの取組みを通して「国際アート・カルチャー都市」を実現していきます。年齢・性別・国籍等を問わず、誰をも受け入れ、誰からも受け入れられ、そして、誰もが笑顔になれる魅力あるまちづくりを目指します。

※SDGsの達成に貢献する優れた自治体を国が選定するもの。

「SDGs未来都市」の中で、特に先導的な取組みは「自治体SDGsモデル事業」として選定される。

豊島区は2020年度、東京の自治体で初めてダブル選定された。

主役になれる劇場都市～



豊島区では、区民や企業など、多様な主体と連携してSDGs達成につながる取組みを進めています。

自治体SDGsモデル事業として、「公園を核にしたまちづくり」に取り組みます。経済・社会・環境の相乗効果と自律的好循環を生み出す、高密度都市における新たなSDGsモデルを展開します。

池袋駅周辺の4公園を 核にしたまちづくり

PROJECT

1

個性ある4公園の運営と、地域企業や運営団体の連携、そして4公園をつなぐ電気バス「IKEBUS」を活用した取組みです。公園を核として、みんなで地域の魅力をまち全体に広げ、池袋駅周辺の回遊性を向上し、新たな交流やにぎわいを創出します。



GLOBAL RING
(池袋西口公園)

中池袋公園

IKE・SUNPARK
(としまみどりの防災公園)



誰もが楽しく遊べる
インクルーシブ公園



としまキッズパーク
小さな子どものための公園。インクルーシブな遊具を設置しており、誰もが一緒に遊べる空間になっています。

IKEBUSサポーター企業(2021年2月1日現在)

- 株式会社ビックカメラ
- 株式会社サンシャインシティ
- 東京国際大学
- 西武池袋本店
- 株式会社西武ホールディングス
- サンシャインシティプリンスホテル
- 西武鉄道株式会社
- 東武百貨店
- 東武鉄道株式会社
- 株式会社アニメイト
- 株式会社池袋ショッピングパーク
- 東武信用金庫
- 帝京平成大学
- 東京信用金庫
- 株式会社ドワンゴ
- 株式会社バンドイナムコアミューズメント
- 株式会社パルコ
- 株式会社プロントコーポレーション
- 株式会社ボニーキャニオン
- 日本ホテル株式会社ホテルメトロポリタン
- 立教大学
- 東京建物株式会社
- 住友不動産株式会社



池袋西口公園

文化発信の拠点となる劇場空間

クラシック音楽やダンス、演劇など、さまざまなショーが楽しめる野外劇場を備えた公園。大型ビジョンや本格的なサウンドシステムも設けられています。



中池袋公園

アニメ・マンガ文化をPR

Hareza池袋内の公園。イルミネーションやコスプレフェスなど、各種イベントに対応したオープンスペースとして親しまれています。



南池袋公園

多世代が楽しめる憩いの空間

一年中みどりが広がる芝生広場を中心に、カフェレストランや多目的広場、区発祥のソメイヨシノが楽しめるサクラテラスなど、多彩な施設がそろっています。



としまみどりの防災公園

あらゆる防災機能を完備

延焼を防ぐシラカシ林や深井戸、備蓄倉庫など、多様な防災設備を備えた区内最大規模の公園。週末は園内でファーマーズマーケットを開催しています。

PROJECT

2

暮らしの中にある

小さな公園の活用

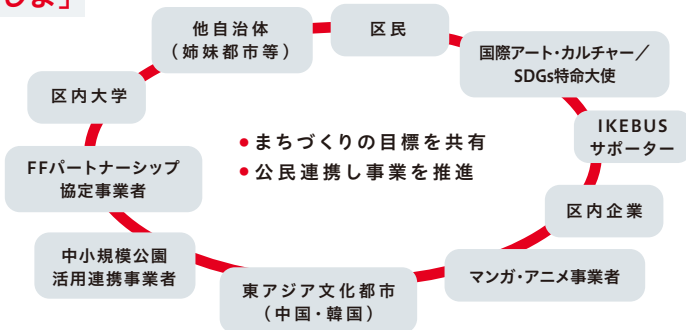
区内の各地域の特性を生かして、地域住民・企業とともに新たな公園活用に挑戦します。もっと使いやすく、過ごしやすい公園を、地域とともに育てていきます。



SDGsのゴール達成に向けて、
豊島区の強みと資源を生かしてモデル事業を推進しています。

POINT 1 多様なステークホルダーと連携「オールとしま」

区民、企業、アトカル/SDGs特命大使など、公と民の知恵と力を総結集。とても小さな自治体ですが、みんなが団結して力を発揮できることが強みです。



POINT 2 23のまちづくり 記念プロジェクトをフル活用

国際文化交流事業「東アジア文化都市2019豊島」をきっかけに、23のまちづくり事業を実施。この舞台で、みんなが主役になれるまちづくりを進めます。



ウイロード



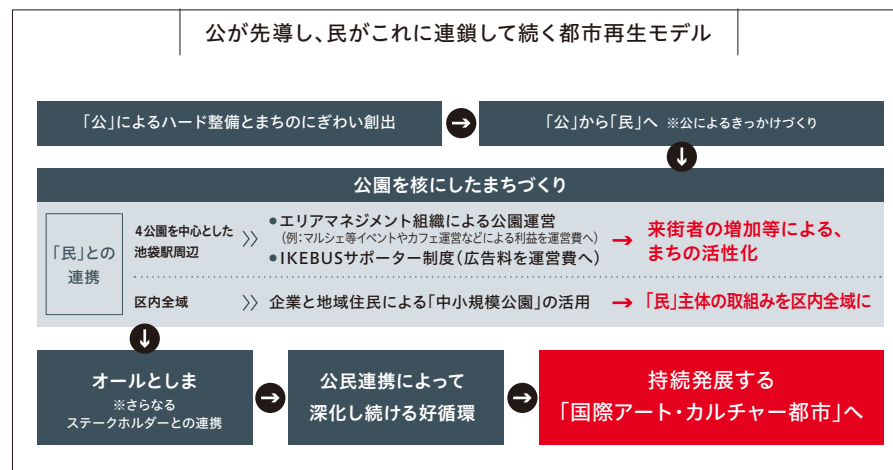
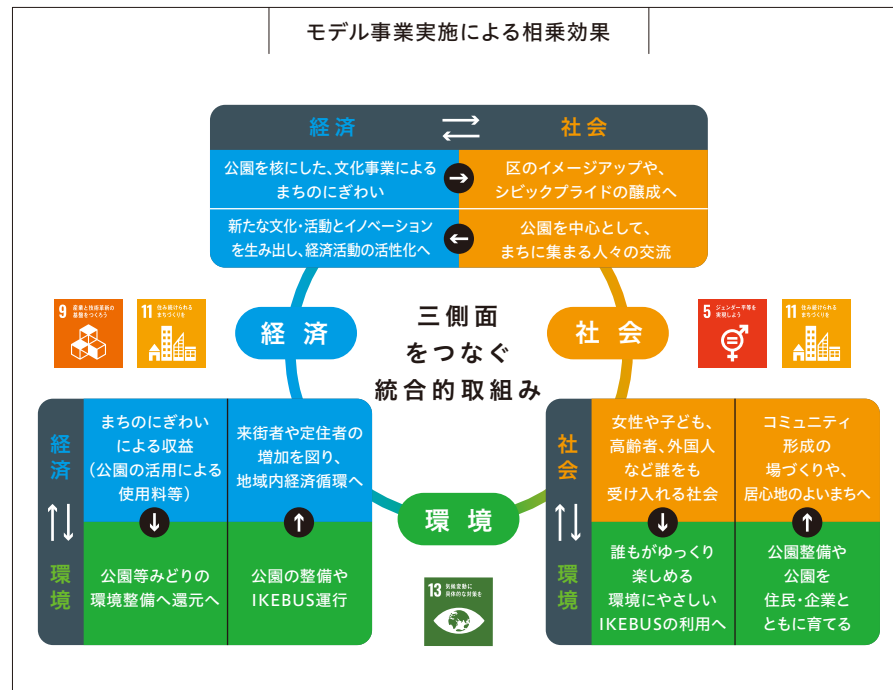
トキワ荘マンガミュージアム



グリーン大通りの再生

SDGsモデル事業がもたらす効果

公園を中心とした多種多様な取組みを推進することで、
地域全体に経済・社会・環境面の大きな効果がもたらされると期待されています。



人

× SDGs

区の都市構想に賛同し、
多くの人が特命大使として
活躍しています。

豊島区SDGs 特命大使とは

SDGs未来都市が目指す持続可能な国際アート・カルチャー都市の実現に向けた活動の担い手です。特命大使一人ひとりが主役となり、まちづくりに参画し、まちを楽しみ、国内外にその魅力を発信することなどが役割です。

SDGsにつながる都市構想の実現へ、
幅広い世代・立場の特命大使が協働し、



齊木 勝好氏 Masayoshi Saiki

豊島区国際アート・カルチャー特命大使／
SDGs特命大使 代表幹事

「豊島区愛」に溢れる高野区長のリーダーシップで、国際アート・カルチャー都市構想のもと、ここ数年で、豊島区は住む人にとっても、働く人にとっても、そして訪れる人にとっても、安全安心で魅力的なまちに変わってきたと感じています。高野区長が我々の思いやエネルギーを引き出し、都市構想を「オールとしま」で推進する役割を担う「国際アート・カルチャー特命大使」にはたくさんの賛同者が集まりました。そのパワーもまちに新たな活力を生んでいます。

この度、嬉しいことに豊島区は、東京都内で初めて「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」の両方に選定されました。これまでの都市構想の推進がもたらした大きな栄誉です。

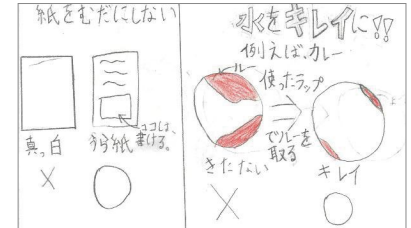
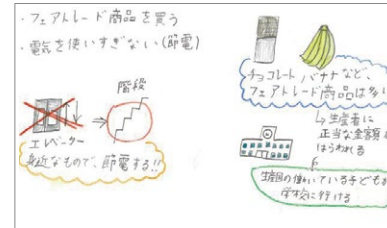
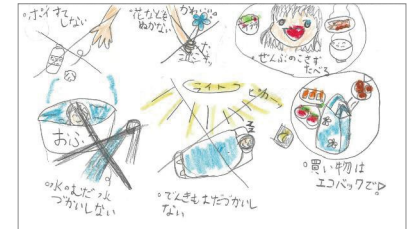
将来像として持続可能な国際アート・カルチャー都市を目指すことになった豊島区に大きな期待をこめて、「国際アート・カルチャー特命大使」が「SDGs特命大使」も兼ねる新たな特命大使制度を設けました。

この提案に、豊島区の魅力を発信し、事業に参画し、「豊島区愛」の裾野を広げてきた、これまでの特命大使の皆さんから多くの賛同をいただきました。ここまで行政と地域が一体となって取り組む自治体は他にあるでしょうか。

これからも「国際アート・カルチャー特命大使」と「SDGs特命大使」を兼ね備えた新たな特命大使は、さらなる高みを目指して、多様な主体が参画し、つながりの輪が拡がり、次世代に継承していくことを目指していきます。

「これがわたしたちのSDGs」

新たな特命大使制度では、賛同申込時に大使自ら「自分ごと」としてSDGsに取り組む目標を一人ひとりが宣言しています。このたび事例集として一冊にまとめました。その中の子ども特命大使の皆さんの取り組みや目標を紹介します。



▶▶ CHECK ▶▶

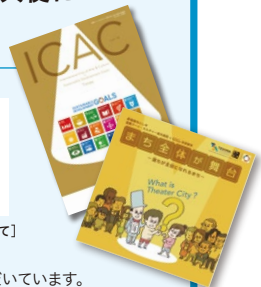
豊島区国際アート・カルチャー特命大使／SDGs特命大使にご興味がある方はこちら

豊島区を盛り上げたい!という気持ちがあれば国籍、区内在住・在勤に関係なく誰でも特命大使になることができます。このまちの主役「オールとしま」でのまちづくり、持続発展する都市の実現を目指して一緒にまちをつくりあげていきませんか。



【▲お申込みについて】

※賛同書等を事務局までお送りください。また、活動費用に充てるため、賛同金のご協力をいただいています。



豊島区に拠点を置き、SDGsの達成に向けて活動する企業とその取り組みをご紹介します。



PICK UP COMPANY ①

[株式会社サンシャインシティ]



水族館ならではの機能を生かし、生態系を守るサンゴ礁の保全に貢献

地球温暖化や人々の活動の影響を受け、世界中でサンゴ礁の死滅・衰退が起こっています。サンシャイン水族館では、サンゴ礁を危機から守り、維持・回復させるべく沖縄県恩納村と連携し、2006年から「サンゴプロジェクト」と題した保全活動を開始。館内でのサンゴの増殖や自然海域への移植を通じて、サンゴ礁の再生を促すとともに、人々に環境問題を考えるきっかけを提供しています。また、2011年には多種多様な生物が暮らすサンゴ礁を再現した水槽にリニューアル。展示やイベントを通じた啓発活動にも注力しています。



▲サンゴ礁に生息する多様な生物を展示

PICK UP COMPANY ②

[株式会社良品計画]



オーガニックコットンを活用し、すべての生活者に豊かな暮らしを提案

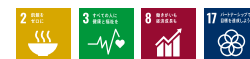
農業や化学肥料を3年以上使用していない土地で、自然の仕組みに沿って育てられる綿花をオーガニックコットンといいます。無印良品では、環境やひとにやさしいものづくりを推進しており、2018年から衣料品のほぼすべて、2019年秋冬商品からは生活雑貨のファブリックにまで、オーガニックコットンを100%使用。なかでも生産量が少ない超長綿については、商品開発者が実際に綿花農場に足を運び、農家の方々と協力しながらサステナブルな生産活動に取り組んでいます。



▲オーガニックコットンを使用したTシャツ

PICK UP COMPANY ③

[株式会社リビエラ]



「環境」「教育」「健康・医療」の軸を持ち、多彩な取り組みでSDGsの達成を目指す

企業理念「大自然と共に心豊かに生きる」を掲げ、幅広い事業を展開するリビエラグループ。2006年に「リビエラ未来創りプロジェクト」を立ち上げ、具体的な活動でSDGsを推進しています。行動の10年としてリビエラSDGsフェスをスタートさせ、SDGsをツールに世界に向けアクションを発信しています。池袋にあるリビエラ東京では、各県とコラボしたイベントを開催。伝統ある郷土の食文化を守り続ける生産者を応援し、健康のために大事な“食”を通して地域経済の活性化を促進しています。



▲魚市場での視察の様子



SDGsを通して、持続発展する 「国際アート・カルチャー都市」の実現へ



Yukio Takano
豊島区長 高野 之夫

「文化は心を豊かにし、まちににぎわいを生む」「文化が平和をつくり、未来をつくる」。私はこの信念のもと、「破綻寸前の財政状況」や「消滅可能性都市」との指摘など、どんな苦しい時でも、ピンチをチャンスととらえ、ぶれることなく「文化によるまちづくり」を進めてまいりました。現在の未知なるコロナとの戦いは、まさにピンチでありますけれども、これをチャンスに変えていく、このチャレンジこそ、これまで私が進めてきたまちづくりそのものです。

まち全体が舞台の誰もが主役になれる「国際アート・カルチャー都市」、そして、その先にあるSDGs実現へのチャレンジは、まぎれもなく本区の目指すべき将来像そのものであります。SDGsの目標とする2030年までの「行動の10年」。まさにこの間の取組みが持続可能な未来を実現できるかどうかの分岐点です。

「住みたい、住み続けたい、訪れたい」と思える、誰もが笑顔になれる魅力あるまちづくりの根幹にSDGsを据え、あらゆる事業にSDGsの要素を取り入れながら、本区の個性を際立たせた国際基準の区政運営に邁進していく決意です。

より良い未来をこれからの世代に引き継いでいけるよう、すべての区民の皆さんや企業の皆さんが参加する、まさに「オールとしま」で、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指してまいります。

としま SDGs 都市宣言

豊島区は、

人々の暮らしを豊かにする文化の力を最大限に引き出すことにより、
消滅可能性都市を克服し、
持続的に発展していく都市の未来像として「国際アート・カルチャー都市」を掲げ、
その実現に向け、地域一丸となった取組を推進しています。
SDGs(国連で採択された2030年を年限とする国際目標)が示す17の目標に挑戦し、
個性あふれる地域社会として活力を高め、
誰もが笑顔あふれる社会の実現に向けて行動する豊島区の一連の取組は、
SDGsの理念や将来像とまさに考えを一つにするものです。
私たちは、SDGsの実現に向け、地域の多様な主体とのパートナーシップにより、
国際的視点で考え、地域主体で行動し、
経済・社会・環境の好循環が生まれる持続可能なまちづくりを更に推進します。
より良い未来をこれからの世代に引き継いでいけるよう、
私たち一人ひとりがSDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、
行動することを宣言します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和3(2021)年3月発行

| 企画・編集 | 豊島区政策経営部企画課

| 企画・編集協力 | 株式会社WAVE

| 発行者 | 豊島区政策経営部企画課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1

[TEL] 03-4566-2520 [FAX] 03-3980-5093 [Email] A0010108@city.toshima.lg.jp